

坂口安吾

桜の森の
満月の下

書 真狩 怜琴

山賊の男と、
妖しく美しい残酷な女との
幻想的な怪奇物語。

「花の下は冷めたい風がはりつめていいるからだよ」

どとかり

朗読
ヴァイオリン

長浜 奈津子
喜多 直毅

2024
7月6日土
室蘭港の文学館
開場13時／開演13時30分

室蘭市港の文学館「特別企画」

7月7日日
函館市民会館 小ホール
開場18時30分／開演19時



写真 前澤秀登



「桜の森の満開の下」

桜の森は、恐ろしい。満開の桜の木の下を通ったものは皆、気が狂う。鈴鹿峠には山賊が棲み、山のすべてを我が物としていた。ある日、山賊はいつものように都からの旅人を襲って、身ぐるみ剥がして殺し、美しい女を家に連れ帰り女房にした。わがままで冷酷な女。「美」という魔術。やがて都へ戻ると、女は男に命じて切り落とした都の人々の首で、遊び耽る。都の暮らしに馴染めない男はやがて、懐かしい山へ帰りたと思った。はらはらと舞い溢るる桜の花びら、夢にまでみた桜の森の満開の下で、男は――。

おとがたり 女優・長浜奈津子とヴァイオリン奏者・喜多直毅による朗読ユニット。首都圏を中心に意欲的に活動を行なっている。物語の持つファンタジーを声や楽器の音を通して空間にありありと描き出すために、即興的に互いの間・抑揚・言葉に反応しながら進行するパフォーマンスは臨場感にあふれ、聴く人はまるで物語の中に居合わせるかのような印象を抱く。来場者をはじめ、文学研究者からも高い評価を得ており、オリジナル台本と音楽による作品上演など、ユニークな活動が注目を集めている。漂白の詩人：石川啄木『啄木といふ奴 A Guy called Takuboku』、極北の詩人：吉田一穂『白鳥古丹 カムイコタン』、太宰治『人間失格 道化と狂気のモノロギスト』など。 <https://www.otogatari.net>



長浜奈津子 桐朋学園演劇科卒業後、劇団俳優座へ。女優・朗読家。2016年より「市川荷風忌」朗読出演。ヴァイオリニスト喜多直毅氏との朗読ユニット“おとがたり”でも『濶東綺譚』他、荷風作品を多数上演。六本木ストライプハウス「朗読空間～ひとり語り」では泉鏡花『高野聖』他、坂口安吾『桜の森の満開の下』『夜長姫と耳男』他、朗読公演を重ねている。村岡花子訳『赤毛のアン』朗読配信や、朗読教室の主宰など、幅広い朗読活動をする。“女優の語り”で登場人物たちに命を吹き込み、物語る。
<http://www.nappy-cantactriz.com>



喜多直毅 国立音楽大学卒業後、英国にて作編曲を、アルゼンチンにてタンゴ奏法を学ぶ。現在は即興演奏やオリジナル楽曲を中心とした演奏活動を行っている。タンゴに即興演奏や現代音楽の要素を取り入れた“喜多直毅クアルテット”の音楽は、そのオリジナリティと精神性において高く評価されている。他に黒田京子、齋藤徹（故人）との演奏や邦楽・韓国伝統音楽奏者・現代舞踏家との共演も数多い。欧州での演奏も頻繁に行う。我が国に於いて最も先鋭的な活動を行うヴァイオリニストの一人である。
<http://www.naoki-kita.com>

室蘭市 港の文学館「特別企画」
2024年7月6日(土)
13時00分開場／13時30分開演 ※入場無料・要予約
室蘭 港の文学館 室蘭市海岸町1丁目1-9
公演詳細のお問合せ Tel: 0143-22-1501(港の文学館)



2024年7月7日(日) 18時30分開場／19時開演 入場料¥2,000
函館市民会館 小ホール 函館市湯川町1-32-1
ご予約・お問合せ Tel: 090-3339-1281(長浜)
Tel: 0138-52-4308(長浜)
nappy_malena@yahoo.co.jp(長浜)

※件名に「おとがたり予約」、メール本文に《7/7 函館公演》《代表者氏名》《人数》《連絡先電話番号》を必ずご記入の上、お申し込み下さい。



おとがたり北海道ツアー2024 札幌・小樽／演目「桜の森の満開の下」坂口安吾
□7月4日(木) 札幌公演「俊カフェ」19時開演／□7月5日(金) 小樽公演「市立小樽文学館」19時開演
●ご予約・お問合せ Tel: 090-3339-1281(長浜) nappy_malena@yahoo.co.jp(長浜)